

安全な地層処分の実現に向けて

資源エネルギー庁が主催する「地層処分研究開発調整会議」において「地層処分研究開発に関する全体計画（令和5年度～令和9年度）」（以下、全体計画）が公表されました。

この全体計画は、長期にわたる地層処分事業を支える研究開発について、国および関係研究機関と地層処分の実施主体であるNUMOが連携・協力し、適切な役割分担の下で全体を俯瞰しつつ総合的、計画的かつ効率的に推進するため、5年ごとに策定・改訂されているものです。

3月24日に公表された同計画では、日本における安全な地層処分の実現性を一般的に示すための包括的技術報告書の作成や、国際レビューを通して明らかになった課題の解決に向けた研究開発計画を取りまとめています。

全体計画で示された 研究開発の概要

- 地質環境の調査と評価に関する技術
- 処分場の設計と工学技術
- 閉鎖後長期の安全性の評価技術
等に関する研究開発項目と内容



また、全体計画では「国、関係研究機関およびNUMOは、研究開発の成果を適宜積極的に国内外に広く発信する」ことが示されています。

NUMOは今後も、この全体計画に基づき、地層処分事業の安全な実施、経済性および効率性向上の観点から、国際連携を一層進め、国内外の叡智を結集しながら技術開発に取り組んでまいります。

「地層処分研究開発調整会議」

とは？

地層処分について、以下の項目に関する審議・調整を行うことを目的に設置された国の会議です。

- ① 研究開発全体計画の策定
- ② 研究開発の連携に関する調整
- ③ 成果の体系化に向けた調整
- ④ 研究開発の重複排除の調整

地層処分について楽しく学ぼう！ ～科学技術館の展示をリニューアル～

3月31日に科学技術館3階「アトミックステーション ジオ・ラボ」の展示をリニューアルオープンしました。

新展示「体感！なぜ？なに？地層処分！！」は、地層処分とはどのようなものか、地層処分をする地下深くにはどのような特性があるのか、などについて最新の技術を取り入れた3つのゲームを通じて、楽しみながら学べる体験型展示です。



▲ 展示イメージ（ファサードグラフィック）

体験した方からは、「モニターを見るだけの展示より、体を動かすことでイメージができて、すんなりと内容が入ってきた」などの声が寄せられています。NUMOは、GX実行会議の基本方針などをふまえ、最終処分の実現に向けた国民理解の促進が重要との認識のもと、科学技術館を訪れる次世代層にも地層処分に関心を持っていただけるよう取り組んでまいります。



▲ 展示イメージ（体験シアター）

科学技術館 とは？

東京都千代田区北の丸公園内にある「科学技術館」では、「アトミックステーション ジオ・ラボ」のほか、科学と技術に関する様々な展示やワークショップが開催されています。ぜひ、遊びに来てね！



科学技術館の開館日時や入館料、アクセスなどについては、こちらをご覧ください！



<https://www.jsf.or.jp/guide/>